

次号予告

特集 DSS・AIにおけるORの適用

しなやかなDSS……………中森義輝(甲南大学)
 金融DSSにおけるORとAIの適用分野
 ……………栗林 訓(文教大学)
 スケジュールリングDSSにおけるAIの利用
 ……………伊藤 謙次(東京工業大学)
 企業戦略とSIS——管理会計によるリンケージに
 むけて……………加登 豊(神戸大学)
 戦略的DSSとAI・OR
 ……………辻 正重(青山学院大学)
 DSS設計論に関する一考察
 ……………飯島 淳一(東京工業大学)
 連載講座
 ファイナンスのための確率過程入門(1)
 ……………岸本 一男(筑波大学)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長	高森 寛	青山学院大学
副委員長	高井 英造	三菱石油㈱
委員	相沢りえ子	㈱構造計画研究所
	稲場日出男	小松短期大学
	上野 哲郎	関東学園大学
	大村 雄史	住友商事㈱
	片山 隆仁	防衛庁
	川合 庸一	川合産業研究事務所
	川野幸三郎	日本ユニカー㈱
	木嶋 恭一	東京工業大学
	新村 秀一	住商コンピューターサー ビス㈱
	町原 文明	日本電信電話㈱
	宮田 雅智	青山学院女子短期大学
	矢部 博	東京理科大学

編集後記 ●戦後の物のない時代に較べ、今日の日本は一部の物を除き(土地も物に含めると、大都市の土地はさしずめ、ないものの代表でしょう)、物があふれています。一方、最近、モスクワで開店した某社のファーストフード店には、オープンの日に2kmもの行列ができ、10時の開店というのに、朝の6時頃から、多くの人々が寒い中で開店を待っていたとのこと。物のない国では、まず品物があるかどうかが重要で、並べば、物が必ず手に入るというのは、革命的なことだそうです。そのような所では、日本が、昔そうであったように、流れるべき物を作るのが先決で、物流の問題は、そのあとということになるのでしょう。このように考えてみると、物流の問題で頭を悩ますのは、贅沢な悩みかもしれません。ところで、忍田氏は本特集の中で、物流問題は、今後解決しなければならない課題の宝庫だと述べられています。R.L. AcoffがManagement in Small Doses

(日本語訳:創造する経営, 牧野昇監訳 有斐閣)で述べられているように、マーケット指向で現実の課題を解決していくことが、OR/Management Scienceの評価を高め、ひいては、それにたずさわっている研究者や実務家の地位の向上につながるのではないのでしょうか。そのような意味で、OR Researcherの手により、多くの課題が解決されることを期待します。また、本特集が、物流問題をかかえて、なんとか解決しようと考えている方々の、何らかのヒントになりましたら、幸いです。●今月は札幌の北海道自動車短期大学で春季研究発表会が開かれます。多くの会員の方が参加されるよう希望します。●本特集で共通して強調されていた1つの考え方は、OR手法と、エキスパートシステムに代表されるAI手法のハイブリッドアプローチでした。次号は、“DSS・AIにおけるORの適用”というテーマを取り上げます。お楽しみに。(大村雄史)

本誌に記載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成2年5月号 第35巻 第5号 通巻353号
 代表者 森村 英典
 発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル
 電話 03-815-3351(代) FAX 03-815-3352 〒113
 編集人 高森 寛
 発売所 株式会社 日科技連出版社
 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151

- 本誌のご文注は直接 日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 950円(本体922円,郵送料含)年間予約購読料10,800円(税・郵送料含)
- 本誌への広告お申し込みは明報社(546-1337)、日経弘報社(563-2241)へ